

情熱が、
ビジネスを拓く

- 1 特集／TOP INTERVIEW
株式会社 スプラウト
(認可保育園 こどもの森 すばらうと)
株式会社 タマダ
清家巧貴税理士事務所
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんTOPICS



体と心を思いきり使い、生きる力をはくむ保育が評判を呼び、多くの保護者から支持を得ている

未来をたくましく、のびやかに 生きぬく子どもたちを育てたい

認可保育園「こどもの森 すばらうと」を運営する。2014年にマンションの一室で認可外保育園としてスタートし3年間、入園児の増加とともに部屋数を増やしながら規模を徐々に拡大。2017年に認可保育園となる。さらに「子どもたちが過ごす環境を整えたい」と、2020年に現在の場所へ移転し、新園舎を構えた。

木をふんだんに使った明るく温もりあふれる園内は、各年齢に合わせた仕様のトイレや、調理の様子が見渡せるオープンキッチンの給食室など、0～5歳までの園児がのびのびと健やかに過ごせるよう配慮した造りとなっている。

代表取締役・園長の利光雅宏氏は福岡でIC製造メーカーの財務部に勤務後、大分へUターンし建設会社で財務・総務職に従事していたが、48歳の時に会社が倒産。「会社の債務整理や、社員の身の振り方のサポートなどをしたが、あの時はとても辛い時期だった」と振り返る。しかしこの苦い経験が利光氏の人生の転機のきっかけとなる。

会社の倒産後、自らも再就職活動を経て病院の事務職にたどり着くがその時、病院に病児保育や障がい児保育施設があり、初めて保育の世界を目にする。

そして52歳の時、「残りの人生、人に必要とされる生き方をしたい」「20代から密かに夢見ていた経営者を目指したい」との思いが日に日に強くなり独立を決意。「会社の倒産を経験したとき多くの社員たちがそれぞれに新たな道を歩む姿を見てきたなかで、人は“生きぬく力”がとても大切だと痛感した。どんな逆境にも負けず前を向いて進むためには、子どもの頃から自分の道を切り開く力を養うことが必要」と一念発起し、保育の道へと飛び込んだ。

「右も左もわからず、最初は苦勞の連続だったが子どもたちを支え育成するために、がむしゃらに歩み続けてきた」と利光氏。

園の運営で大切にしていることは「楽しく」「ゆるく」「甘く」。子どもたちが楽しいと思えることを、保育士たち自らが考え、企画・提案し活動する。毎月のように遠足を実施したり時には映画館、さらに県外へ遊びに



上／昼食やおやつを作る様子を、大きなガラス窓越しに園児や保護者が見渡せる給食室 下／月齢、クラスに合わせたトイレを設置。トイレトレイニングを楽しく自発的に行えるよう配慮している

出かけたりと、子どもたちと一番距離の近い保育士が、やりたいことを実現することで、保育士の成長や、やりがいも見出している。「保育園の運営の要である保育士たちがスキルを磨き、モチベーションを維持、向上することは、今後も経営者として重要な課題。20年、30年と存在する園であるため、働く人のモチベーションがどこにあるのかも把握していかなければならない」。

可能性を秘めた子どもたちは、芽吹きを始めた新芽（スプラウト）。「大きな樹」のように、たくましく育つよう、利光氏をはじめ職員全員、今日も子どもたちと全力で向き合う。

趣味はツリーリングと絵を描くこと。自ら園児に絵を教えることもある



昭和の木造校舎のような、温かみのある雰囲気。テーマに令和2年に完成した園舎

大分南部ブロック同友会

〔認可保育園〕

株式会社 スプラウト
(認可保育園 こどもの森 すばらうと)

代表取締役・園長 利光 雅宏氏

DATA

〒 大分市古国府3-11-10

☎ 097-574-6537

🕒 7:00～18:00

📅 日曜、祝日

📍 あり



130年以上続く想いを胸に 地域に根付いた歩みを続けたい

豊後大野市・三重町は明治から大正、昭和の旧大野郡の時代には、物流や人々の交流の場として栄えた場所。そんな三重をはじめ、大野や清川、千歳など地域の人たちの暮らしを130年以上前から支えてきたのが「株式会社タマダ」だ。

創業は明治22年。現会長の玉田隆一氏の曾祖父が「玉田金物店」を構えたのが商いの始まりである。創業当時、周辺には金物屋はなく、一日がかりで足を運び商品を買求める人も多く、暮らしの道具が手に入る、地域になくてはならない存在であった。

昭和20～40年代の戦後は、地元の大工や内装屋などの業者が数多く家建てる時代となり、店もその需要に合わせて建材や資材の販売を開始した。「当時は3代目が店を営んでいたが、商店街にはたくさんの店が軒を連ね、最も活気のあった時代だと聞いている」と、代々受け継がれてきた地域の歴史を振り返る。

時は流れ、平成に入り現会長が4代目となり事業承継し、2001年に法人化。金物店は「ホームプラザたまだ」と名前も新たに店舗も拡張し、より品そろえも充実。また別事業として2007年には環境事業部も立ち上げ、オール電化や太陽光発電システムの施工、販売も手がける。

さらに2012年には金物店から派生した常連客から、ちょっとした住宅の改修やリ

フォームの依頼が多く入るようになったのを機に「建築事業部」を設立。施工の評判は徐々に口コミで広がり、「玉田さんに家づくりまでお願いできないか？」との要望が増え、注文住宅の企画・建築・施工を開始。事業部名も「エヌスタイルハウス」と改名し、本格的に家づくりに取り組み始める。

自然素材を使い健康にも配慮した「くつろ木の家」や、子育て世代に優しい省コスト・高品質な住宅「Happiness」など独自のプランで、自由設計の家づくりを提案。地域を知り尽くした工務店としての強みを生かし、長く愛される住まいを提供する。事業発足から約10年、数々の住宅建築・リフォーム実績を積み、若い世代にも支持されている。

金物屋に始まり住宅建築にまで事業の幅を広げ、いつの時代も顧客のニーズに寄り

添い柔軟に変化・拡大してきた。そして現在、事業を担うのは現会長の長男である哲士氏。5代続く営みの中で、変わらず大切にしているのは「地域の中で必要とされる店になろう、地域の中で必要とされる人になろう」という想い。

「少子高齢化・過疎化が進み厳しい状況ではあるが、まずは地元のお客様を大切に、心の通うサービスや商品を提供しながら代々続く事業を継続したい。今後は個人住宅だけにとどまらず、地域の公共事業の建築やリフォームにも積極的に参入したい」と、新たな時代も地域に根ざした歩みを続ける。

「長年利用してくださるお客様はもちろん、新しい世代のお客様にも支持される企業でありたい」と玉田氏



大野同友会

〔建築材料卸 荒物小売〕

株式会社 タマダ

代表取締役社長 玉田 哲士氏

DATA

☎ 豊後大野市
三重町市場1276-1
☎ 0974-22-1017
🕒 8:00～18:00
📅 第2・4土曜、日曜
📍 あり



日常で使う工具やネジ、生活用具から建築用品などものづくりや暮らしに役立つ幅広い商品が並び



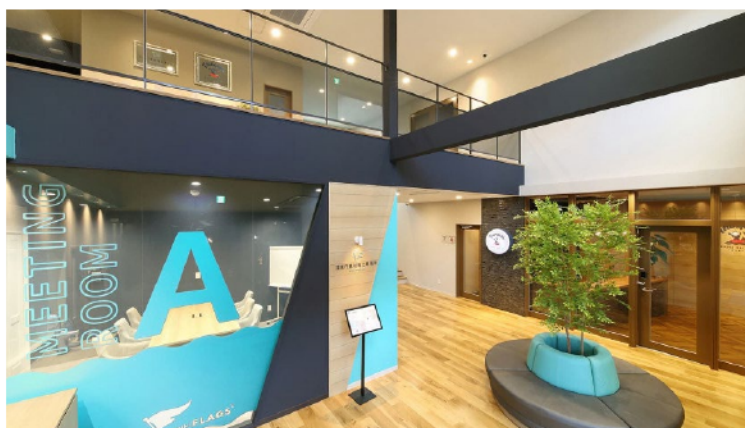
大正10年 玉田金物店（現店地）



左／大正時代の店先をおさえた貴重な写真。便利で頼れる金物店として、多くのお客様に愛されてきた 右／「物価高騰や少子高齢化で大変な時代だが、代々続くバトンを繋いでほしい」と語る玉田隆一会長と哲士社長



素材や建築方法にこだわった「エヌスタイルハウス」の家づくり。新築のほかリフォームも手がけ子育て世帯からも好評



吹き抜けが開放的な1階には、税理士事務所のほか、コワーキングスペースがある



上/2階のセミナールームは約36名での利用が可能。会議だけでなくワークショップなど様々な活用に活用できる
下/マリニティストが印象的な「Tranquilo」(トランキーロ)。誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気の魅力



故郷・佐伯の未来のために 旗振り役となり地元を支える

税務・会計業務や事業再生をはじめ、経営コンサルティング業務などを手がける「清家巧貴税理士事務所」。代表の清家巧貴氏は佐伯市・大入島で生まれ育ち、高校時代は佐伯鶴城高校の野球部に所属。「学校へは船で通学し、部活の練習が夜遅くなったときは、漁師だった父が漁船で迎えに来てくれることもあった。とにかく野球に打ち込んだ高校時代だった」と佐伯で過ごした青春時代を振り返る。

卒業後は愛知県の大学へ進学し、そこで初めて「簿記」に出会い、税理士を志すことを決意する。大学卒業後も簿記や経済、経営の知識を深めたいと2つの大学の各大学院へ進学。その間、簿記の専門学校にも通うなど、野球に熱中した高校時代のように、ダブルスクールで勉強に明け暮れた日々を過ごし、税理士の資格を取得した。

その後、佐伯へUターンし、地元の税理士事務所に就職。多くの中小企業との関わりの中で、経営者が抱える苦悩を体感する。その経験から、「税や会計のことだけでな

く、経営者に事業の未来や成長についての提案ができれば」と、税理士事務所を辞め、福岡の大手コンサルティング会社に転職。「コンサル業界は、税理士の仕事とは違った面白みを感じた。多くの経験や知識、人との出会いは自分にとって貴重なものとなった」と回想する。コンサルティングの知識とスキルを身に着けた清家氏は、再び佐伯へ帰郷し、2011年に独立開業。地元佐伯をはじめ中小企業が抱える様々な経営課題を、企業と並走しながら解決し続けている。

そんな中、生まれ育った大入島の小中学校の休校が決まった。「大入島の母校が生徒数の減少でなくなった時は、生きた証がなくなるような気がして寂しかった。大入島と同じように、佐伯市全体が人口減少・過疎化が進み、地元で活気がなく経済が回らなくなるのでは」と、危機感を抱いた清家氏は、「地元の旗振り役として先頭に立ち、中小企業を導く」というミッションのもと、開業10周年の節目に事務所の移転を兼ね、「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウを循環させるための新たな空間」として「saiki FLAGS (サイキフラッグス)」を設立。税理士事務所のほか、コワーキングスペースやレンタル

オフィスなどの空間を備えた「Tranquilo (トランキーロ)」を作った。「佐伯を発信する場として、人や企業が成長するきっかけになれば」と思いを込める。

現在44歳の清家氏は、中小企業の大きな課題のひとつである後継者不足に対し、企業をM&Aで支援する事業にも注力。「58歳までに100億円企業を作る」という大きな展望を描く。地域に活力を生み出す存在として「大漁旗」を掲げ、歩み続ける同社の今後が楽しみだ。

仕事以外では佐伯市の少年野球団の監督業も、子どもたちへ未来へのビジョンや地域愛を養う役割も果たす



まるでカフェのようにくつろげるコワーキングスペース。ママさんも作業しやすいようキッズスペースも完備

佐伯地区同友会

[税理士事務所]

清家巧貴税理士事務所

所長 清家 巧貴氏

DATA

〒 佐伯市大手町3-7-26

☎ 0972-22-8628

営業 9:00~17:30

休 土・日曜、祝日 〆あり





有限会社 アラカワハウス
代表取締役 荒川 司さん

工法や建材にこだわりを持ち、機能的で美しい住まいを届ける



DATA
[建築業]
有限会社 アラカワハウス
所 豊後高田市森484-1
☎ 0978-24-1809
🕒 9:00~18:00
📅 日曜、第2・4土曜
📍 あり



住まい手の想いに寄り添い、 建築を通じてまちを変える

昭和57年の創業以来、職人としての誇りと技術を大切に、木造建築の専門家として伝統的な在来工法を守り、いつまでも快適に暮らせる住空間を形にしてきた。地元を中心に手がけるのは、新築住宅の施工からリフォーム、寺社仏閣の修復、公共工事まで様々。近年は豊後高田市初のWB工法採用店として、通気性と暖かさを兼ね備えた高品質住宅も提案する。そんな住まいのあらゆるニーズに答えてきた「アラカワハウス」に、荒川司さんが設計士として入社したのは令和2年のこと。令和6年4月に代表取締役役に就任した若き2代目は、創業者として夫婦2人3脚で業務領域の拡大に努め、職人として現場に立ち続ける父・住夫さんの背中をどこか冷静に見つめていたと話す。自営業ゆえに多忙で休みがなく、家族の思い出が少なかった子ども時代。けれど会社のこれまでの歩みは、両親が実直に積み重ねてきた信頼と実績があつてこそ。「この縁を

絶やすべきではない」との思いが芽生えた10代の頃、職人というかたちでなくとも建築の道で生きていくことを決心したという。そして高校卒業後は北九州の大学で学び、2級建築士の資格を取得。実務経験を積み帰郷した後は「設計士がお客様から直接ヒアリングを行うことで要望をダイレクトに反映できる」という強みと、司さんによる新たな出会いの輪が加わり、40年以上の基盤を誇る組織は新たなフェーズに突入している。また、現在は自らが立ち上げた設計事務所「non design office 株式会社」の代表を兼任しており、新規事業として古民家再生プロジェクトをスタート。宿泊施設やカフェの運営を通じて新規顧客の開拓はもちろん、移住・定住への貢献も目指すなど、施工会社として大きな一歩を踏み出している。

キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power ふわり 爽風力

人々の暮らしを食から支える 地元密着のローカルスーパー

商いを通じて社会に貢献し、その土地に暮らす人々の日常を支えるスーパーマーケット。臼杵市野津町の商店街で産声を上げ、50年以上の月日を住民とともに歩む「フミヤ」も、安心安全な食を通じて地域のライフラインを守り続けてきた。平成4年に代表取締役役に就任した現会長の中島究さんは、大阪の商社に勤めていたものの、富美屋商事株式会社の前身である「合資会社中島」の代表を務めていた兄の提案を受けて帰郷。代を継ぐまでの間はスーパーの2階で寝具店を営み、その時代に自らの足で旧野津町を行商することで地域との結びつきを深めた。

そして令和6年に経営のバトンを引き継いだのが、大手総合電機メーカーの半導体工場で長く検査業務に従事してきた婿養子の信二さんだ。少子高齢化によるマーケットの

縮小が進む中、信二さんがまず改善に取り組んだのは固定費の削減。消費電力が特に多い冷凍・冷蔵ショーケースを省エネ性能に優れた製品に入れ替え、今後はレジ設備の更新や従業員の仕事の効率化を目指していくと話す。また、買い物の目的は消費者にとって用事を満たすことだけではない。スーパーはときにお客様にとって憩いの空間であり、高齢の常連客にとっては従業員とのコミュニケーションを交わす温かな場所でもあることから、信二さんは長きに渡ってスーパーの賑わいを支えてきた地域住民への買い物支援の強化手段を模索。「過疎化がよりいっそう進み、買い物弱者と呼ばれる人々が今後増えていきます。地域密着店としてその悩みに寄り添っていくためにも、商工会と共同運営している町内配達システムをより強化していくなど、方法を考えていきたいですね」。昔から究さんの目利きで仕入れる青果や、訪れる人を楽しませる95円セールや金土市セールなど、今後も独自の個性を守りながら時代の変化に柔軟に対応していく。



富美屋商事株式会社
代表取締役 中島 信二さん



店舗業務を幅広く支援する全日食チェーンに加盟。店内には肉魚をはじめとする生鮮食品や青果などが並び

DATA
[小売業]
富美屋商事株式会社
所 臼杵市野津町野津市158-1
☎ 0974-32-2804
🕒 1/1・2のみ
📍 あり





COMPANY GUIDE

食品製造業

株式会社 CROBORNO



クロワッサンたい焼きの他、ホットサンド、からあげや丼の具材など幅広い種類の商品を卸販売する

新感覚な食感のたい焼きを多くの人へ

幾層にも重なったサクサク生地の「クロワッサンたい焼き」をはじめ、ホットサンドなどの冷凍商品を自社で開発・製造し、卸売を行う。2015年の創業時、卸売と並行し、大分市内で実店舗を構えテイクアウト販売やカフェ運営もしていたが、現在は卸売業に絞った事業形態に。同社のたい焼きの特色のひとつは、生クリームやアイスが入ったものを「冷凍」で販売している点。試行錯誤を重ねた末に開発した商品は業界でも珍しく、冷凍自販機用や飲食店など幅広い顧客から「新感覚のスイーツ」として評判に。取引先も、北は北海道から南は鹿児島まで、販路は全国各地へと広がる。

今後の展望は「できたてのクロワッサンたい焼きのおいしさをまた味わってもらいたい」と再び、直売所スタイルの店舗をもつこと。商品アイテムも増やし、さらなる顧客ニーズに対応する予定だ。



〒大分市畑中1-5-9
☎097-544-5022
🕒9:00~15:00
📅日曜
📍あり

不動産業

株式会社 リッツハウス



令和2年に設立。長男の和音さん(写真向かって左)らスタッフとともに、あらゆる不動産事業に取り組む

お客様の不動産ニーズに真摯に向き合う

安部律子社長は起業する前は、英会話講師やスポーツインストラクターとして働いていたが、2人のお子さんの子育てをするなかで「手に職をつけ、子どもの将来に備えたい」と猛勉強の末、宅地建物取引士の資格を取得し、49歳で不動産業をスタートさせた。現在、大分市や由布市をはじめ、県内各地を対象エリアに不動産の賃貸、売買をはじめ物件の管理、清掃業を行う。「最初は賃貸仲介で出会ったお客様が、次は家を建てる土地を探したいと相談に来られるなど、長いお付き合いのお客様が多い。細かいニーズにも一貫して対応できるのが、うちの強み」。今年は新たな取り組みとしてマンションのリノベーション事業も展開。スケルトンリフォームで間取りから施工まで手がけた物件の販売にチャレンジするほか、長年の夢だったという宿泊業にも参入したいと、事業の幅を広げ前進する。



〒大分市賀来2796
☎097-549-5749
🕒10:00~18:00
📅不定休 📍あり

建設業

有限会社 セイコウ建設



「人の生活の基盤を作るこの仕事に誇りを持っている。子どもたちにその魅力を知ってもらいたい」と衛藤氏

土木の仕事の面白さを次世代へ伝えたい

大野町で創業し、今年で34年目を迎える。公共工事を中心に、民間も含め幅広い土木工事を手掛ける。現在43歳の衛藤正太郎社長は20代、長崎の海上自衛隊へ入隊。その後、地元へ戻り創業者で父でもある正宏会長の事業を34歳で引き継いだ。「幼い頃から地元の建設会社と助け合いながら仕事をする父の姿を見てきた。父が積み上げてきたものを今度は自分が守りたい」。大切にしているのは「人を守る」こと。無事故で社員が健康な状態で働ける環境づくりには特に配慮している。

また衛藤社長は、業界全体の課題である若手人材の獲得と育成にも注力。「技術継承もだが、インフラ整備を担うこの仕事のやりがいを子供たちに伝えたい」と、自身も所属し部長を務める地元の商工会青年部のメンバーらと協力し、重機の展示や仕事体験などのイベントを実施したいとの夢も描く。



〒豊後大野市大野町大原884番地
☎0974-34-2803
🕒8:00~17:00
📅土・日曜
📍あり

旅館業

海浜旅庵しおじ



上/爽やかな潮風が心地良く、食事には地元の食材を中心に使用する
右/宿を守り続ける大女将の高嶋美佐子さん。「地元で愛され、育てられ
今日まで歩むことができました」

地域に根を張り、愛される海辺の絶景宿

普段は海の中に潜む浅瀬が干潮時に姿を現し、陸地と島を結ぶ小道が出現する神秘的な光景など、刻々と移り変わる風光明媚な風景が眼下に広がる「しおじ」。来年いよいよ50周年を迎える「海浜旅庵しおじ」は、遠方からのゲストはもちろん、古くから宴会や慶事、法事など、地域の人々の集まりの場として親しまれてきた。そして現在はコロナ渦により、団体から少人数、個人へと変化をした旅行・宴会のグループ規模を考え、各顧客の満足度を高める新たな付加価値の提供を様々な視点から模索する。昨年開発した濃厚なオリジナルプリンもその一つで、地元で栽培された風味豊かな韃靼(だつたん)蕎麦の実を贅沢に使用。館内にはオーシャンビューの展望風呂や、オールハンドの施術に心身が整う予約制のヒーリングルームを完備し、家族経営ならではの温かなおもてなしにも心が癒される。



〒豊後高田市見目5708
☎0978-54-3382
🕒15:00 🕒10:00
📞なし※前日までの予約制
📍あり

土木建設業

清川産業株式会社

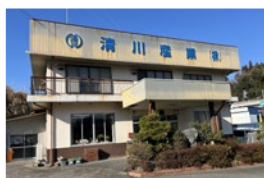


災害の原因となる山崩れや土石流を防ぐための治山工事を多く手がけ、
地域の安全を守る、大切な役割を担う

自然を守り地域社会の安全を技術で支える

昭和36年に、山林から地元の集積場へ材木を運ぶ運輸業で創業。現在は豊後大野市を中心に、県内各地の公共工事をメインに行う。道路の改良工事や河川工事など、携わった現場は数知れずある中、得意とするのは治山工事。国有林をはじめ森林の機能を維持・復旧するための工事を多く手掛ける。

「台風や豪雨など昨年は災害も多く、復旧作業も大変だった。自然を守り維持し災害を防ぎ、安全に暮らせるための役割を果たしたい」と3代目の江藤伸吾氏。その一方で、過疎化が進む地域ゆえの深刻な若い担い手不足の課題もあり、対策の一つとして海外からの技能実習生を受け入れ人材確保・育成を行っている。「みんな本当によく頑張ってくれており、感謝しかない。長年の実績と信頼を大切に、事業を維持したい」。現場スタッフへの思いとともに地域貢献への歩みは続く。



〒豊後大野市清川町砂田1671番地
☎0974-35-2121
🕒8:00~17:00
📞第2・4土曜、日曜
📍あり

設計業

株式会社 高建築事務所



「BIM(ビルド・イン・モデル)」というソフトを使い3Dで設計図面を作成。
平面図よりもリアルな設計イメージを提供する

集う人を思う建築で未来をつくる

高 彰宏社長は、創業者であり建築士でもあった父・武彦さんから「経験を積んでこい」との言葉を受け、大学で建築を学び20代は福岡の設計事務所に勤務したのち、父の事務所に従事。41歳で事業を継承する。公共・文教施設をはじめ幅広い実績を持つ中、特に得意とするのが医療・福祉施設の設計。その背景には、武彦さんが40代のときに脳梗塞で倒れ、体が不自由となり「どうすれば障がい者にとって利用しやすい空間が作れるか」を自身の経験を通じて追求してきた思いがある。「父が自らの経験を踏まえ手がけてきた、利用者目線の設計に対するこだわりは、これからも大切にしたい」。現在は高社長をはじめ8名のスタッフ全員で、快適な建築物を生み出すために力を注ぐ。

今後の展望は、建築業界の若い担い手の育成。また福岡営業所も今年は本格的に始動させ、事業拡大を狙う。



〒大分市賀来北2-23-5
☎097-549-5555
🕒8:30~17:30
📞土・日曜、祝日
📍あり

楊志館高等学校における職業案内授業開催

去る、令和6年12月5日と令和7年2月21日に楊志館高等学校にて、職業・職場紹介の授業が行われました。当組合と令和6年7月3日に調印式を行った楊志館高等学校との包括連携協定の一環として開催されたものです。12月5日には8つの企業が2年生100名に向けて企業説明を行い、2月21日には26の企業が1年生300名に向けて企業説明を行いました。各企業の担当者は直接生徒たちに語りかけられたことに大きな手ごたえを感じているようでした。また生徒たちも各企業の説明にメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。



けんしんTVCMおおいの宝もの新シリーズ別府市編 放映開始

今作で第38作目となるけんしんTVCM「おおいの宝もの」。今回は市制100周年の別府を取り上げました。コロナ禍を乗り越え、観光客でにぎわう泉都別府。古い歴史と再開発が進む新しい別府のいろいろな表情を切り取りました。多くの外国人が生活者として、また観光客として訪れる街。また別府を新しい活躍の場と定めて移り住む人々。それらの人々を、おおらかに包み込む風土は、はるか昔から別府に流れる旅人をもてなす心意気なのかもしれません。そして一番の見どころは、別府湾を見下ろす素晴らしい風景。ぜひ皆様もCMに登場するスポットを訪ねてみてください。新しい発見があるかもしれません。

